



平成 27 年 2 月 10 日

各位

会 社 名 日本プラスチック株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 須藤 亘
(コード番号 7291 東証第二部)
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 新浜 隆則
電 話 番 号 0544-58-9080

微生物によるウレタンリサイクル技術の開発について

日本プラスチック株式会社は、世界初となるウレタンを微生物分解でリサイクル可能な状態にする画期的な技術を開発しましたので、別紙の通りお知らせいたします。

尚、当社といたしましては、本件開発が将来の事業展開の中で重要なシーズになるものと期待いたしておりますが、当面の業績への影響は限定的なものと考えております。

(別紙)

プレスリリース資料

『微生物によるウレタンリサイクル技術の開発について』

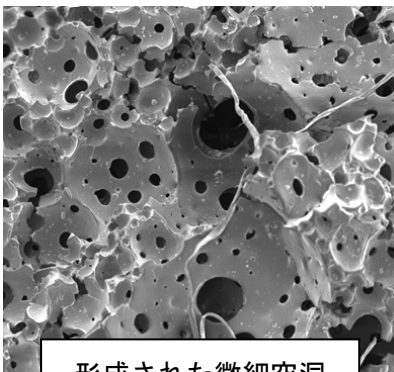
以上

微生物によるウレタンリサイクル技術の開発について

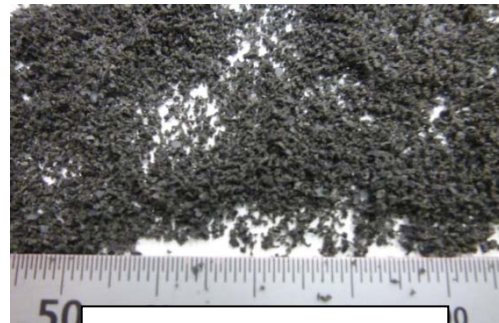
自動車用エアバッグ、ハンドル、内外装樹脂部品を製造販売する日本プラスチック株式会社（代表取締役社長：須藤 亘 本社：静岡県富士宮市）は、国立大学法人帯広畜産大学との共同研究※¹により、これまでリサイクルが困難であり、そのほとんどがサーマル燃料や埋立処理されていたウレタン廃棄物を、世界初となる微生物分解で微細空洞を形成することにより粉碎が容易となり、リサイクル可能な状態にする画期的な技術を開発しました。

【特徴】

1. 微生物の作用により、環境に優しい省エネ、小コストの分解技術である。
2. 特殊前処理で、短期間に分解を進行させる事ができる。
3. 常温で微細パウダー加工可能。
4. 微細空洞形成により吸水性、保水性、吸音特性に優れる。



形成された微細空洞



加工された微細パウダー

今後は微生物分解後のウレタンを、当社の主力製品である自動車用ハンドルの製造過程で再利用する事や、微生物分解後の微細空洞を活かしたウレタンを製品名「NPORUS（エヌポーラス）※²」とし、微細空洞形成による特性（吸音特性、吸水特性等）を活かした新規製品開発を開始し事業拡大を目指していきます。

※¹ 本技術は、帯広畜産大学との共同で特許出願済み 特許出願第 2014-108764 号、特許出願第 2014-248701 号
国際出願 PCT/JP/2014/082135

※² 商標登録出願済み 商標登録出願第 2014-104655 号

【本件に関するお問合せ先】

日本プラスチック株式会社 先行開発部 TEL：0544-58-6866 FAX：0544-58-8020 杉山康二
経営企画室 TEL：0544-58-9080 FAX：0544-58-9950 鈴木良仁